

大阪市交通局のOSAKA素顔なマガジン

# ノツテオリテ

2009  
創刊号

vol. 1

出町  
か旅に  
かけよう。  
特集

エッセイ  
矢井田 瞳

あちこち ほないこか  
空堀界隈

大阪市交通局の取り組み  
線路を守る

# 大阪ならではの コミュニケーションが 世界を明るくする!



文・矢井田瞳

先日、母と母の友人が計画していた旅行に、急遽私も加えてもらつて、大阪のおばちゃん4人+私で沖縄旅行をしてきました。私は、仕事の都合上東京で暮らすことが殆どになってきたのですが、たまに無性に恋しくなるのが大阪のおばちゃんパワーなのです。

どこに行つても通るはつきりとした大きな声(笑)と、常に買い物を求める態勢(無論、「無料♪タダ♪」が大好物)。パワフルな行動力と、会話に必ず盛り込んでくるお笑い要素。私はお腹よじれっぱなしで大笑いしていました。笑うつてとてもいいエネルギー! 3泊4日の旅行で、大阪のおばちゃんパワーをめちゃめちゃ充電しました! 帰り際、「もうしばらく大阪のおばちゃんはええわ」と言うと、おばちゃん達、大爆笑してくれました。ああ、大好き。大阪の良いところはソコだと思うんです。

人を笑かすことにも慣れてるし、笑われることにも慣れてる。矛盾点は誰かが突っ込むからその場で解決。知らん人にもゲイゲイ近寄る団々しさ(良い意味です…). 例え悲しいことがあつたとしても、プラスのパワーに変える力と人情が街に染みついている気がするんです。「悩んだってしゃーないやん」。何度もこの言葉に教わったとか。

勿論、一概に大阪人が全員そういう性格だとは言いませんが、街の雰囲気がエネルギーなどで全国の土地を巡らせて頂く機会がありますが、大阪の活気や生命力がとても

個性的であることを、毎回再確認させられます。

大阪で時間が取れる時は、思い出の場所巡りをしたりします。電車に乗つて北摂から梅田まで出たり、そこから地下鉄御堂筋線で、以前アルバイトをしていた江坂まで行つたり。デビュー当時にライブをしたミニマニに行くと、まだ何も知らなかつた頃のまつさらな自分を思い出します。私にとつて大阪は、数えきれないほどの思い出が点在している特別な場所なのです。

友達と一緒に時は、新世界のジャンジャン横丁で串カツを食べた後、スマートボールで遊ぶコースがお気に入り。ずっと大阪にいた頃は当たり前だと思っていた景色が、今はこれまで以上に愛おしく感じます。

さて、今や何が起ころるか解らない時代です。インターネットの普及率もすさまじく高いし、人と人が顔を合わせてコミュニケーションしなくても会話や仕事が進むようになりました。告白や辞表もメールで!?! なんだかちょっと寂しい気もしますが、便利なものは便利に使うだけにして、団々しい大阪人魂(良い意味です…。2回目 笑)を忘れずに、人と顔を合わせて、会話を交わして、突っ込みでスキンシップをして(1)どんどんコミュニケーションの輪を広げていけたらいいですね!

その輪がいつしか結束の強さとなり、活気溢れる大阪をずーっと守ってくれることを祈っています。

やいだ・ひとみ(シンガーソングライター)

1978年大阪生まれ。シンガーソングライター。2000年5月にインディーズレーベル青空レコードより関西地区限定発売の「Howling」でデビュー。同年、7月に「B'coz I Love You」でメジャーデビュー。10月にリリースした1stアルバム『daiya-monde』がアルバムチャート初登場1位を獲得し、一躍トップアーティストの仲間入りを果たす。デビュー以後、精力的にライブ活動を行い、その独自で伸びやかな声が印象的なライブパフォーマンスには定評がある。



# ノッテオリテ

2009 vol.1 創刊号

## Contents

- 02 エッセイ  
**矢井田 瞳**  
「大阪ならではのコミュニケーションが世界を明るくする!」
- 04 特集  
**町旅に出かけよう**  
初めての風景に出会う、バスの旅  
風を切って気ままに走る、自転車の旅  
路地裏をてくてく、徒歩の旅  
「ノッテオリテ」の大正マップ
- 12 あちこち ほないこか  
**空堀界隈**
- 14 線路を守る  
「安全」を明日につなげる取り組み  
機械保線区の一日  
夜を徹しての保線作業
- 20 大阪市交通局オリジナルグッズ
- 22 地下鉄・ニュートラム・バスのりばのご案内
- 24 That's 学  
天王寺駅のシャンデリア／消費電力エコReport

本誌で紹介している、店舗やエリアの  
アクセス情報にある地下鉄駅名のナン  
バーやバスタークニナルのりばについては、  
P22・23の路線図をご覧ください。  
バスについては曜日・時間帯により運  
行していない系統があります。

[お問い合わせ]  
市営交通案内センター  
☎ 06-6582-1400 拝 06-6585-6466  
(8:00~20:00 年中無休)

表紙の写真：千歳橋  
ちとせ

### ノッテオリテ創刊にあたって

「素顔」をテーマに大阪市営交通の「思い」や「取り組み」、また、「大阪の魅力」を多くの  
お客さまに紹介する新しい情報誌「ノッテオリテ」を創刊いたします。

今後とも、「お客さま第一主義」のもと、「安全で」「便利で」「快適で」「環境にやさしい」  
輸送サービスの提供に努めてまいりますので、ご支援よろしくお願いします。

大阪市交通局長 葛本 恵英

# 町旅に出かけよう。

空と川と渡船の大正へ

いつもとちょっとちがつた休日を過ごしたくて、「町」へ旅に出ようと思いつた。

普段は通りすぎてしまふ「町」を旅してみよう。人がそうであるように、

同じひとつの町でもいろんな顔をもつていて、そんないろんな表情を楽しむために、

いくつかのちがう速度で町を巡ることにした。

速度が変われば、目線が変わる。

見えるものも感じるものも変わる。

そこには町の素顔があるかもしない。

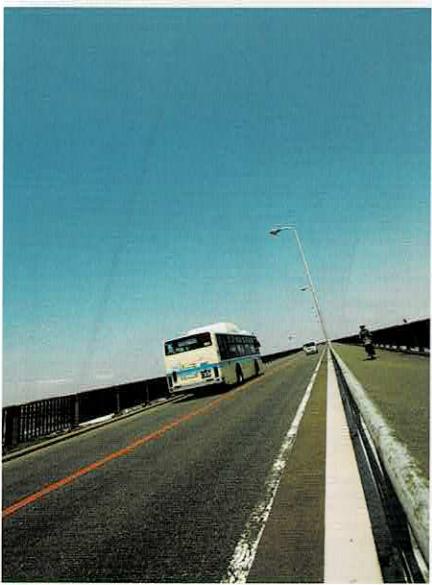
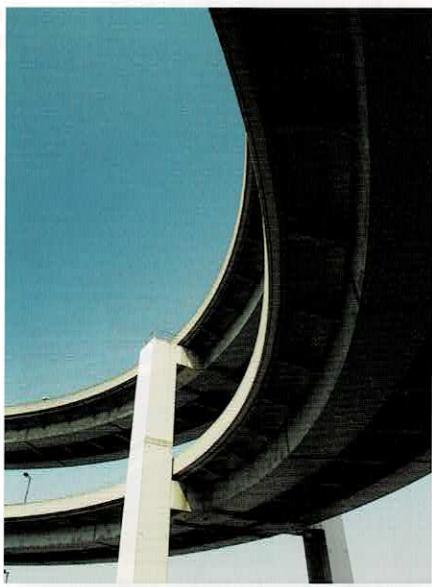
バス、自転車、徒歩。

速度のちがう3つの旅を重ねて、大正区を巡ってみた。



川あり橋あり港あり。渡船もあれば山もありと。なかなか変化に富む大正。まずはそのダイナミックさを感じるために市バス49B系統に乗りこんだ。地下鉄住之江公園駅を始点にして木津川を越え、南側から大正区に入るのだが、その間、車窓を流れる情景は、もうただただ圧巻といふほかない。

南の玄関は日本最長のアーチ橋、片めがね“こと新木津川大橋だ。高さ46mからの絶景に加え、巨大な



上：新木津川大橋を仰ぐ。空を切り取るループに圧倒  
中：なみはや大橋。バスならではの高い視界がひときわ爽快  
下：なみはや大橋から大正区側を望む。左奥に千歳橋の姿が

## こんな大阪見たことない!? バスで行く、初めての風景。

らせんを下つて工場地帯のまつただ  
なかに降りていく感覚がちょっととす  
ごい。バスならではの遠心力で体が  
揺れる。そして視界の迫力。外の異  
観はバスとともに大きく旋回して一  
瞬もとどまることなく飛び去っていく。  
降りたところは長い埠が続く工場地  
帯で、なかでも圧倒的な存在感を放

つているのが大正時代から続くとい  
う中山製錫所だ。歴史を物語る錆茶  
色の工場は、映画「ブラック・レイ」  
の撮影地にも使われたと聞く。  
そんな工場群を見ているとどんでも  
もなく遠いところに来てしまった気  
がしてくるが、思えばこれは路線バス。  
これがこのバスの日常なのだ。そんなことをしみじみ考えている間に、  
バスはいつしか工場地帯を抜けて天  
保山へ向かうこのルートは空と海の  
路線ともいえる。バスは急勾配の道  
をぐんぐん上がる。目の前には青空  
だけ、眼下には海。まるでバスが飛  
たまらない。

バスで駆け抜けた大正が深く心に  
焼きつくのは、広く高いバスの車窓  
から望む、このダイナミックな飛翔感が  
強い磁場があるからにちがいない。



鮮やかな青色が印象的な千歳橋。左右どちらの眺望も絶景

気ままに自転車旅。  
爽快に、ゆるやかに  
風と共に走る。



小回りのきく自転車で移動しているといろんな情景に  
出会った。空と川を見渡す絶景は千本松大橋の橋上。  
また千島公園では南国気分のソテツ林に遭遇

三方を川に囲まれ、ふところに内港を抱く大正区はまさに「島」である。そのため自転車が区民の重要な生活の足だからということもあるうが、町全体がまあ実に走りやすくていている。どんなにでっかい橋でも自転車専用レーンが整備されている。しかも町中を走っていても実に楽しい(旅人にはここが重要)。というわけで、土日も対応してくれる区の「コミュニティセンター」でレンタサイクルを借り、大正を駆け回ってみた。

まずは、千歳橋。高さ28mの橋上まで自転車を押して行くのはさすが

に一仕事だが、それだけの価値は十分あつた。橋上の眺望は「お見事!」。大正内港を眼下におさめて通天閣まで望め、京セラドーム大阪さえ小さく見える広さと大きさである。

その気持ちよさをもう一度味わいたくて、千本松大橋へも行ってみると、その橋で、実はこちらが元祖、大阪初のらせん橋。三層ループをぐるぐると高さ36mまで上りきり、「やつと着いた!」と見渡せば、大正を一望する見事な眺め。しかも橋上の直線を走り抜ける快感ときたらただただ爽快の一語である。

ちょっと疲れたら、リトル沖縄“と呼ばれるサンクス平尾の商店街でひと休み。沖縄出身の人が多い大正区ならではの商店街で、ソーキそばやサーファー・アンダギーなど沖縄の味も楽しめる。他ではなかなか見られないスチカ(塩豚)や豚の各部位のホルモンなどにもお目にかかる。さて、大正の自転車旅でぜひ体験

しておきたいのが渡船である。何せ大阪市内8つの渡船のうち7つが大正区にあるというのだからこれはは

落合上渡船場で「自転車で船に乗る」という初めての体験にドキドキしながら待っていると…来た! 「はい、どうぞ」と誘導されて船へ。乗り慣れた地元の人たちが、「整列」と呼びたくなるほどキッチリ船上に自転車を並べる様子に感心しつつ、前に

ならえ。対岸までのつかの間の船の旅ではあるが川面をなでる風を感じることができる。

さらに自転車のフットワークを生み、和山の周辺を整備した公園で、ソテツをはじめとした亜熱帯植物がずらりと並び、南国にいるような不思議な気分に。バタタツ:「わつ」。見なれない鳥が数羽、目の前を横切った。

ここでは、ただ走り抜けただけでない、まちなかサイクリングの魅力を十二分に楽しむことができるだろう。川周辺は、速度をちょっとだけゆっくりめにする。前だけ見て一目散に駆け抜けてしまうより、その方が、一瞬ごとに移り変わる情景と風のきらめきをしっかりと受け止めることができることだ。



足まかせ、道まかせに町を探検で  
きるのは、徒歩の旅のいいところ。  
泉尾・三軒家中央の3つの商店街が集まるエリアを通り、レトロな町並から京セラドーム大阪に遭遇するコースをてくてくと歩いた。

歩いてみて感じたのは、この町の商店街はどこも実際に庶民的で下町情緒にあふれているということ。

味のある看板や貼り紙があつたり、もしサツマイモやタケノコの水煮が店頭に鍋ごとドーンと置かれているたり、細い路地の奥で小さな食堂がひつそり営業中だつたり、おもちゃ屋の店先で地元の子供たちが楽しそうに遊んでいたり。店頭に造花と猫の置物がディスプレイされている……と思って、置物に顔を近づけたら、なんと「わ、本物!」と驚いたのは「アートフラワー井村屋」の前を歩いていた時。餌の餓筋を手でくつぐる猫もいて、置物猫にひけをとらず、こちらも商店街のアイドルだそうだ。そんな小さな発見を重ねるほどに、町にも人にも親しさを覚え、てくてく散策は楽しさを増していく。

さて、ぶらぶら歩いていると、食いしん坊アンテナに響くものを発見した。「カレーショップ A & A」の土曜限定、売切御免のカレーパン。ちょうど小腹も空いていた。待つこと3分、「熱いし、気いつけてな」と手渡されたアツアツを近くの休憩用ベンチで頬ばると、なんと中に福神漬けが入っている! 楽しい食感とやさしい気遣いで散策のひとときを和ませてくれた。

商店街を抜けた三軒家界隈には、戦前から残る町並みも多い。昔のままの行き止まりの路地や入り組ん

# 路地裏の遭遇。 歩いて探す。



歴史を感じさせる昔ながらの  
町並みの向こうに京セラドーム大阪が輝く。ちょっとSF的?

## 特集 町旅に出かけよう。

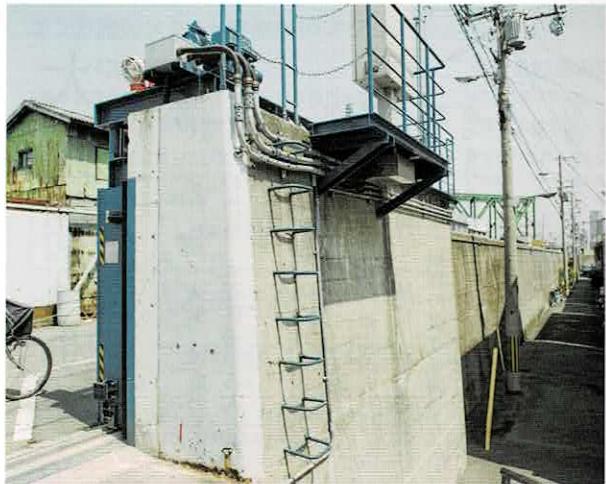
大道もちらほら。しみじみと懐かしく、かつ「足と目の探検」にも心そそられるところである。まぎれこんだ細い路地では木の物干し台が家の外に付いているのを見かけた。

別の路地では、子供がフラフープを回していた。狭い道を曲がれば、思わず足を止めてしまった味のあるタイル壁。いかにも地元御用達の銭湯に、愛情たっぷりなれんが揺れていた。

一体いつの時代に迷いこんでしまったのだろう? — そんなことさえ思われてしまふ風景だった。

地下鉄の駅へ向かおうと、角を曲がり、ふと目を上げてびっくりした。いつのまにかドームが目と鼻の先に迫っているではないか。なぜ? さつきまで影も形もなかったのに!

そして次の四つ角でさらに驚くこ



ときには商店街をはざれて臨道や住宅街を探検するのもおもしろい。また尻無川沿いでは区を水害から守る防潮堤と非常に備えた防潮铁扉が見られる



# からほり 空堀 界隈

**大**阪の都心部では珍しく戦災を免れた空堀は、町家や長屋のほか、かつての面影を残す建物が点在する。

そんな古い町並みに、ひょっこり手作りアクセサリー店の看板や、長屋を再生した複合施設が顔をだす。昔と今が交差する、それがこの町の魅力だ。



## 迷い歩きが空堀の 楽しいところやんか。

**商**

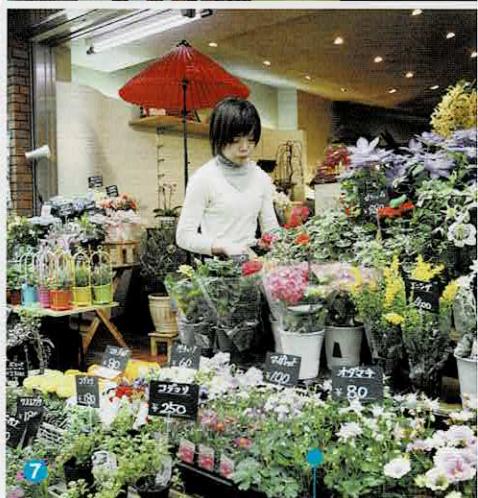
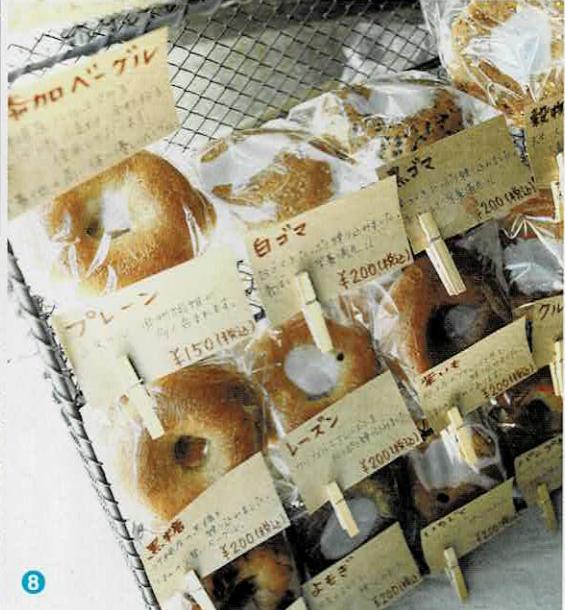
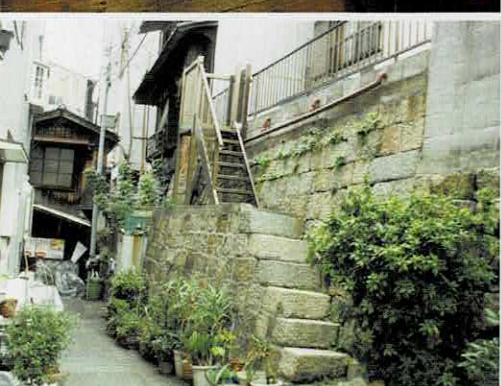
店街を離れて、坂をノボッタリ、クダッタリ。わざと路地から路地へと歩き、角を曲がつたとたん、「あつ、こんなところに…」。

有名店で修行した新鋭ピストロやヨーロッパから買付けた商品を扱う雑貨店など、若きオーナーの本格店をひょっこり見つける快感。自分のカンを頼りに、わざとの迷い歩き。これこそ、空堀に惹きつけられる理由だろう。

坂が多い町・空堀をノボッテ クダッテ  
その先に発見する古いもの、新しいもの  
この町の魅力は歩くほどに、どんどん溢れ出る

## 普段使いの鰯節や昆布だからこそ 本物のこだわりがうれしい。

**創業 240 年以上の鰯節店は店先で削りたての鰯節を毎日売る。ごく当たり前のようだが、240 年以上その「毎日」が続いているのだ。老舗の昆布店は若き4代目店主が暖簾を守る。なかなかのイケメンだが、商売に対する考え方には気骨がある。最高の昆布を手に入れるために、2週間も北海道の漁師の手伝いをしたという。そういうこだわりを積み上げるからこそ、専業店には何度も足を運びたくなる。**



●地下鉄で  
谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」(T24・N18)駅下車すぐ  
●バスで  
「大阪駅前」発 「上本町六」行102系統乗車  
「なんば」発 「杭全」行85系統乗車  
「あべの橋」発 「天満橋」行101系統乗車  
「天満橋」発 「なんば」行105系統乗車

※バスのりばについてはP22・23をご覧ください。  
※バスについて曜日・時間帯により運行していない系統があります。  
【お問い合わせ】市営交通案内センターに。詳しくは裏表紙をご覧ください。

- ① 惣(長屋再生複合施設)  
☎ 06-6767-1906(土日祝はつながりません)  
営 11:00~19:00(各店舗により異なる)  
水曜休(祝日の営業は各店舗により異なる)
- ② サリー・マクレナン(雑貨)  
☎ 090-6557-9604  
営 11:00~13:00, 14:00~20:00 木曜休
- ③ ピストロ・ギャロ(ピストロ)  
☎ 06-6762-1016  
営 12:00~14:00, 18:00~22:00 日曜, 第3月曜休
- ④ カーボン(雑貨)  
☎ 06-6767-8260  
営 12:00~18:30(土日祝~18:00)  
月曜, 水曜, 水曜休(火曜, 水曜は予約制)
- ⑤ 前(複合文化施設)  
☎ 06-6767-1906(土日祝はつながりません)  
営 11:00~19:00(各店舗により異なる)  
水曜休(祝日は営業, 翌日休)
- ⑥ ぬのめ(魚屋)  
☎ 06-6762-2561  
営 10:00~18:00 日曜, 祝日休
- ⑦ 花匠(顔花(花屋))  
☎ 06-6768-0187  
営 10:00~19:00 木曜休
- ⑧ ラウレア(ベーグル)※「練」内  
☎ 06-6767-1906(土日祝はつながりません)  
営 11:00~20:00 ※月に数回の出店
- ⑨ こんぶ土居(昆布)  
☎ 06-6761-3914  
営 9:00~18:00 日曜, 祝日,  
夏季休暇(1週間), 新年5日間休

**古いものと新しいものが  
ええ混ざりぐあい。**

人が優しいし、温かい。生まれ育った土地やない  
けど、親近感があるんですわ」と、この地で商  
売を始めて5年目になる花屋の店主。新しいものを受け入れ、混ざり合う。そんな町の懐の深さが、今の空堀をつくりだしている。

**空堀のシンボルのひとつ、商店街に向かう。**

3つの商店会で形成されている空堀商店街は東西に約800m続く。「おつきくなつたなあ」まるで孫を抱くかのように、お客様の子供を大将の「うちのいか焼きはな、新鮮な力が自慢やで」の声に思わず一枚焼いて!

# 「安全」を明日につなげる取り組み 線路を守る

地下鉄の最終電車が車庫へ入った後。人気のない、深夜の真っ暗なトンネルの奥で行われる作業があります。それは、「保線」と呼ばれる、線路の点検・補修業務。線路は数ミリのズレやゆがみが生じるだけで、電車の走行にさまざまな影響を及ぼします。地下鉄の安全で快適な運行のために、保線は一日たりとも欠かせない作業です。線路を守ることは、安全運行を守ること——。今回は、その取り組みをご紹介します。

## 線路の安全はどうにして守られるのか

地下鉄に乗っていて、特に何も感じない——つまり、揺れや走行音が特に気にならない状態。当たり前のことのようになりますが、それこそ、線路のコンディションが万全に保たれているという証拠。反対に、揺れや異音が気になってしまえば、その線路はメンテナンスを必要としているかもしれません。

線路は鉄でできていますから、「補修する必要があるの?」と思つている方も多いかもしれません。実は想像以上に傷つきやすいものです。

幅65ミリの2本のレールの上を、1両30トン以上もある地下鉄が日に何度も往復し、さら駅やカーブのあたりでは加減速を繰り返す。そんな日々の運行によって、線路には大きな負荷がかかります。車輪との摩擦でレールが削れてしまったり、上下左右に位置がズれてしまったり……と、さまざまに歪みが生じます。こうしてたった数ミリでも線路が歪むと、一般の方でも体感できるほどに乗り心地は変わります。そのままにしておくと次第に歪みは大きくなり、やがては列車の安全な運行に影響を及ぼすこともあります。そこで、実際に線路を歩いたり、軌道検測車と呼ばれる検測用の大型機械を走らせたりして線路の変化(軌道変位)を確認し、レールに磨耗や歪みがあれば補修する作業が必要になってしまいます。線路を一定の状態に保つ、この一連の作業を「保線」といいます。

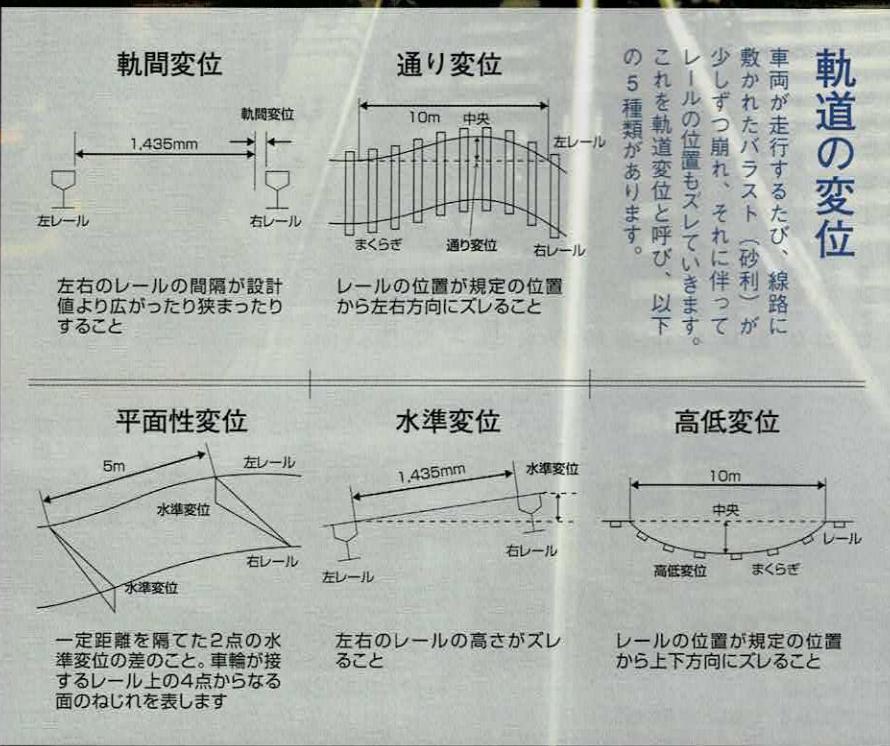
1975年頃まで保線作業はすべて人の手で行われてきましたが、最

近では一部の作業を機械で行うようになり、効率のよい整備ができるようになりました。現在は短い距離の作業は人力で、距離が長くなれば機械を投入してなど状況に合わせて二つの手法を使っています。

### 保守用機械の代表格

ルチブルタイタンバー(通称マルタイ)。線路の歪みを直す大型機械です。マルタイは深夜のトンネル内で作業がメインになるので、一般的の方がその作業風景を目にする機会は少ないので、電車一両分に相当する巨大な機械が、1ミリの線路の歪みを丁寧に直していく。そんなダイナミックかつ繊細な作業が夜毎に繰り広げられています。レールの耐用年数は、最も電車の本数が多い御堂筋線の新大阪から天王寺の区間で、だいたい15年程度。傷みがひどくなると最終的にはレール 자체を取り替えなければならないのですが、保線作業を行うことで2~5年、レール交換の周期を延長することができます。

地下鉄は365日休むことなく走り続けます。作業を行つて線路を直しても、列車が走ればまた線路は傷みます。線路を守り、安全で快適な運行を支えるため、まるで追いかけっこのように毎日どこかの路線で保線作業が行われています。最終電車が通り過ぎたあと、始発電車が通るまでの深夜、人の目に触れることがないトンネルの中で、さまざまな機械と保線スタッフがお客様の安全を守っているのです。



# 機械保線区の一月

お客様の安全を守る

誇りと責任を携えて

森之宮機械保線区の保線作業に密着し、  
チームスタッフの保線にかける思いや  
普段目につくことのない作業の現場をご紹介します。



広大な敷地内には、車両、保線、電気といった技術関係施設が集まっており、地下鉄を支える保守基地となっています

の作業着。普段、駅ホームで見かける駅員の制服とはひと味違うのです。これが線路を守る保線スタッフの仕事服です。手袋を着け、腰に工具一式を携えれば、一日の作業が始まります。

保線作業には人力で行うものと、機械を使って行うものがありますが、なかでも大型の機械を扱うのが「機械保線区」といわれる部署。各路線に設置されている保線区とは異なり、「機械保線区」は長居と森之宮の2カ所にしかありません。この2つの組織で、地下鉄全路線の機械保線を行つ

ています。

今回紹介する森之宮機械保線区は、大阪城公園の東に位置する大阪市交

## 機械保線区が 整備・運用する 保線用車両



動道車

レール交換時など、付属のクレーンでレールやまくらぎをトロッコに積み込み、作業場所まで引っ張っていきます



軌道檢測車

データ収録装置を搭載した検測車を走らせることによって、軌道のゆがみやレールの摩耗状態を測定、解析します



レール削正車

レールに波状にできた摩耗や傷を、車両の左右に付いている砥石で元の状態に近づくように整えます



構築点検車

トンネル上部の打音検査をするための高所作業車です。最大で4.4メートル伸びる車体後部のリフトに乗って点検します

## 線路を守る～機械保線区の一日～



(左上)さまざまな大型機械や回送電車が集まる検車場では、機械の移動にも慎重さを必要とします。運転者と誘導者が連携を取りながら作業を行います(左下)車外ではボルトにゆるみがないか、油漏れなどの異常はないか、目視点検を行います。小さな見落としがトラブルにつながるため、全員で確認し合います(右上)チーム内の意思疎通を図るためにも、ミーティングやKY活動でのコミュニケーションが重要(右下)点検施設(通称マルタイピット)は、車体の下にもぐりこんで底部をチェックできるよう、地下に降りられる構造になっています

## 機械保線はチームプレイ 万全の準備で深夜に備える

深夜の作業でも、朝から非常にたくさんのお仕事が待っています。朝のミーティングで作業工程を確認するほか、チーム全員で安全唱和を実施します。安全への意識を高めるとともに、現場で不測の事態が起きないように準備を行います。また、機械保線でもう一つ大切なのはチームの連携です。逃げ場のないトンネルの中で巨大な機械を扱うため、チームワークの乱れは、大きな事故につながりかねません。狭いトンネル内での作業中にも、基本の指差し呼称に始まり、車内と車外の者がお互いに声をかけ合うなど、細心の注意を払うよう心掛けています。



現地での作業をコントロールするオペレーター室では、使用する部分の動作確認を念入りに行います

ミーティングのあと、午前中に行われるのが、その日の夜に使用する機械の始業前点検。車内ではオペレーターが、実際に機械を動かし、車外のスタッフが目で見て各部の動作に異常がないかを確認します。保守用機械の性能が上がるにつれ、システムの制御は複雑になります。万が一、作業途中にトラブルが発生すれば、翌日の地下鉄の運行に支障をきたす可能性もあります。そのため、日々の点検整備や、事故やトラブルに迅速に対応するための訓練は欠かせません。作業出発前には事故や災害を未然に防ぐことを目的に、危険予知活動（KY活動）を行います。これは当日の作業で危険だと思われる動画を想定し、どう対処すれば安全に作業ができるかの意見を出し合い、実際の作業に反映するというものです。

ほとんどの作業はコンピュータ制御で行われますが、機械を動かすのは、やはり人。そこでは日々の作業で積み重ねてきた勘や経験も重要な役割を果たします。マルタイの基本操作を覚えるまでに約1年、レールのミリ単位の歪みに気付けるようになるには、さらに数年の経験が必要になります。マニュアルでは伝えきれない勘やコツを、若い世代に習得させるための技術継承も、専門性の高い作業を担当する機械保線チームの大切な任務の一つです。

日中に必要な準備をすべて整え、日付が変われば、いよいよ現場作業の開始。スタッフはマルタイに乗り込み、トンネル内に出動します。

## 作業車両は精密機械 日々の整備が不可欠

ミーティングのあと、午前中に行われるのが、その日の夜に使用する機械の始業前点検。車内ではオペレーターが、実際に機械を動かし、車外のスタッフが目で見て各部の動作に異常がないかを確認します。保守用機械の性能が上がるにつれ、システムの制御は複雑になります。万が一、作業途中にトラブルが発生すれば、翌日の地下鉄の運行に支障をきたす可能性もあります。そのため、日々の点検整備や、事故やトラブルに迅速に対応するための訓練は欠かせません。作業出発前には事故や災害を未然に防ぐことを目的に、危険予知活動（KY活動）を行います。これは当日の作業で危険だと思われる動

# 夜を徹しての保線作業

主力機「マ」チプルタイタンバー」で出動



終電の運行も終わった深夜0時40分、  
マルタイの作業は始まります。検査場を出で、作業ポイントへ



移動時のマルタイは時速20~30キロぐらいで走行。  
誰もいない森ノ宮駅ホームを通り過ぎ、作業ポイントに到着



乗車前のマルタイピットでは、メンバー6人が揃って指差し呼称を行い、安全に対する意識の徹底を図ります

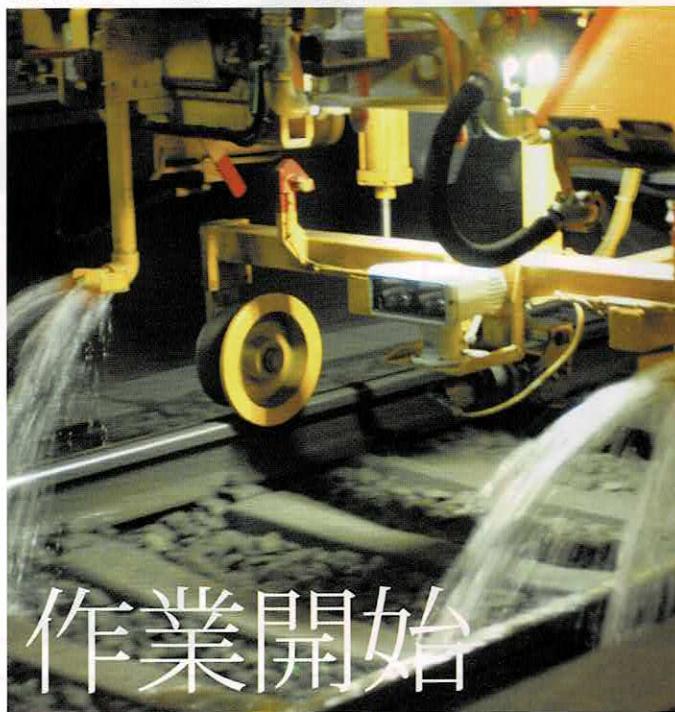
安全への思いが支える  
深夜の厳しい作業

地面を通して体の芯まで伝わってくる振動。ディーゼル車特有の軽油の匂い。そして、トンネル内に響き渡る大きな作業音。深夜1時。場所は地下鉄中央線、谷町四丁目駅と森ノ宮駅の中間あたりのトンネル内。マルタイによる保線作業の真っ最中です。

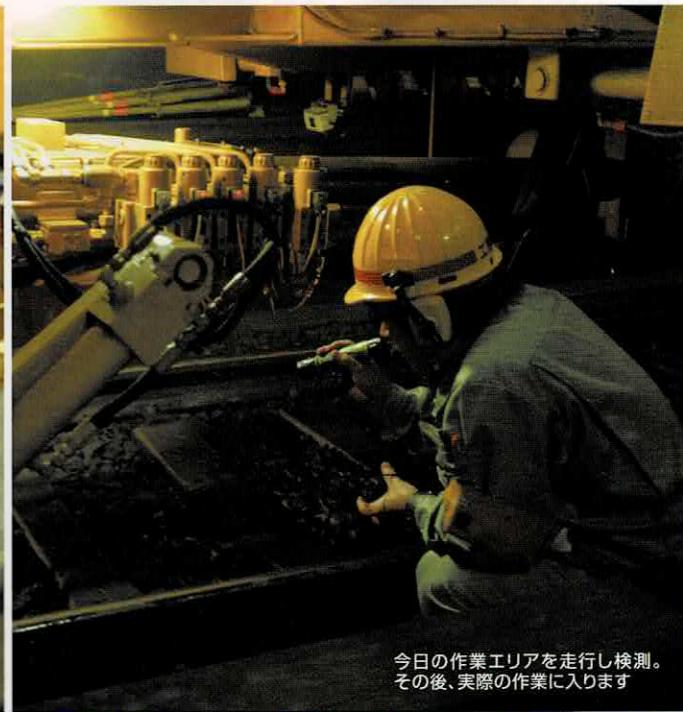
まず、ゆっくりとした動きで進み、作業場所の状態をチェックするマルタイ。その後、車体の中ほどに付いた大きな鍵ツメを路面の砂利（パラスト）につき立て、そのまま線路を持ち上げます。持ち上げたレールとまくらぎの下にパラストを押し込んで道床をつき固め、同時にレールの歪みを補正。この作業を、既定の時間内に黙々と繰り返していきます。本日の作業距離は約215メートル。短いと思われるかもしれません、これで予定期通り。

保線作業は終電から始発までの間、3時間半程度しか行なうことができません。作業を行う場所が基地から遠ければ、移動や準備だけでも2時間ほどかかるてしまい、実際に作業でかかる時間はさらに短くなってしまいます。また、地下鉄の保線が、地上における保線と大きく異なる点は、トンネルという閉鎖された作業空間にあります。作業中に生じる砂や埃が壁で反響し、目の前にいる人の声も聞こえないほどの轟音になります。そのため、作業中の会話はすべてイヤホンを通して行います。また、ト

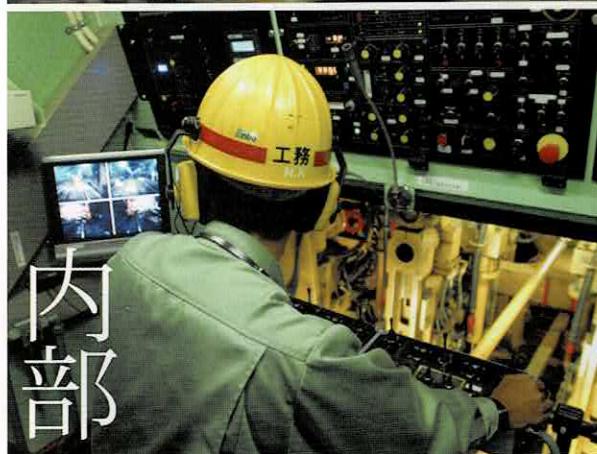
線路を守る～夜を徹しての保線作業～



## 作業開始



今日の作業エリアを走行し検測。  
その後、実際の作業に入ります



## 内部

マルタイ内部のオペレーター室には作業の様子を見通せる大きな窓が。  
道床と鍵ヅメの状態を目で見て確認しながら作業を進めます



## つき固め

レールとまくらぎを掴んで持ち上げ、振動でパラスト(砂利)を押し込みます

## 今回の作業範囲

地下鉄 8 路線 129.9km のうち、森之宮機械保線区が担当している路線は、5 路線（谷町線、中央線、千日前線、長堀鶴見緑地線、今里筋線）85.5km です。今回ご紹介した作業は、中央線、谷町四丁目～森ノ宮間の約 215m です。すべての路線の状態を安全に保つためには、日々の作業が欠かせません。

…深夜作業範囲



## 帰着

午前4時。作業を終えたマルタイと入れ替わるように始発電車が走り出します



マルタイの後ろでは2名の作業員が作業後のレールの状態をその場で確認しています

最低限の空間しかないため、不測の事態に避難できるスペースもなく、常に周囲に気を配り、緊張感を持つ作業に臨む必要があります。  
長い距離を効率よく整備したくてできないジレンマ。危険を伴う環境で求められる、正確な作業。そのような厳しい条件のなかで、「お客様の安全のために」、「乗り心地のよい地下鉄のために」という保線スタッフたちの思いが、線路の安全を支えています。  
「作業が終了して基地に戻ってきた時が最もホッとする瞬間」とは、保線スタッフの言葉。まだあたりが薄暗い中、帰途につく保線スタッフに入れ替わりに、いつもと変わらない始発電車が線路を走り始めます。

# 大好きな乗り物と、いつも一緒にいられるね



**4 スルッとKANSAI バスmini文具セット**  
バスをモチーフにしたメモ帳とシャープペンシルのセットです。  
600円



**3 スルッとKANSAI 電車mini文具セット**  
メモ帳とシャープペンシルのセット。  
メモ帳はAとBの2パターンあります。  
各600円



**2 走る電車付き!ボールペン**  
ノック部分を取り外すと走る電車になるボールペンです。  
500円



**1 スルッピーペンシル**  
名前シールや消しゴムがついた  
12色のクーピーペンシル。  
1,000円



**9 走る・フラッシュトレイン**  
ストラップにもなる、走らせて遊べる電車型キーホルダー。  
800円



中央線と堺筋線の2種類あるよ。

**8 スルッとKANSAI 光るDXトレインセット**  
先頭車が光る、走る電車のおもちゃ。  
レールも付属します。  
各1,500円



**7 スルッとKANSAI バスレジャーシート**  
バスのイラストが描かれたかわいいレジャーシートです。  
500円 縦90cm×横120cm



**6 チョロQ ニュートラム**  
ニュートラムのチョロQ。ブルパックで走ります。  
600円

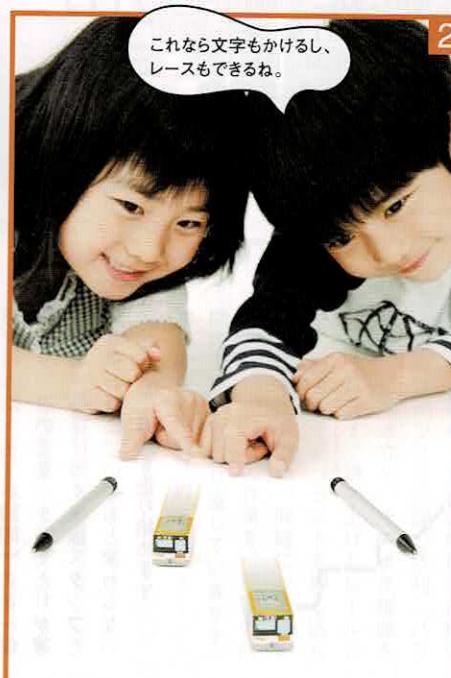


**5 スルッとKANSAI ぶるぶるバス・ぶるぶる電車**  
ひもを引くとぶるぶる前進する  
バスと電車のぬいぐるみ。  
各500円

大好きな乗り物ともっと一緒にいたい。そんな子どもたちの気持ちに応える大阪市交通局のオリジナルグッズをご紹介します。



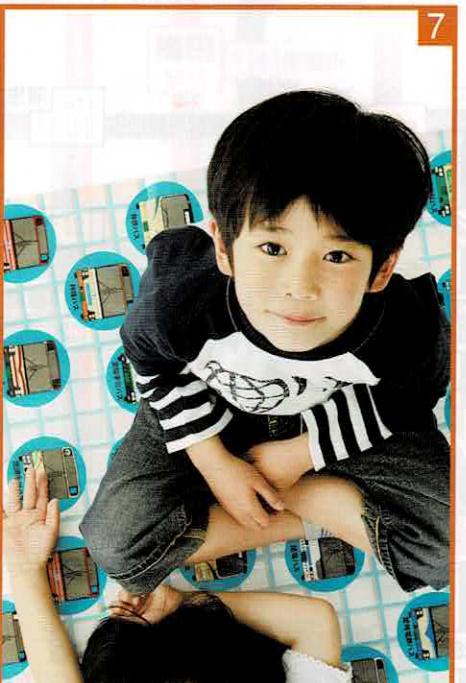
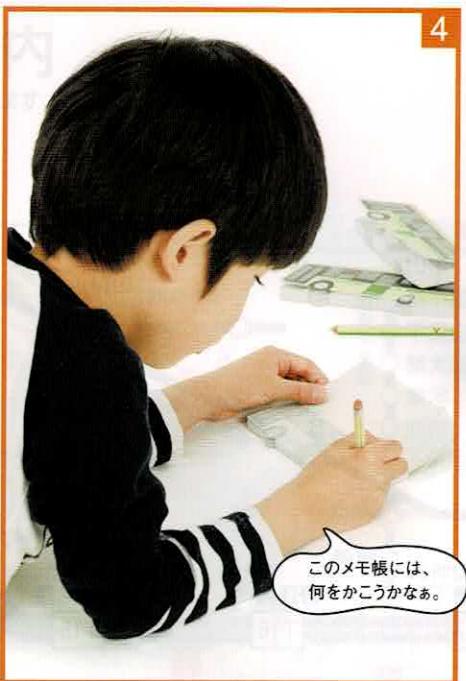
鉛筆そっくりなのに  
シャープペンシルなんだ!



これなら文字もかけるし、  
レースもできるね。



おえかき楽しいね。



知っていると  
ちょっと  
トクした気分!?

# That's 学

大阪市営交通にまつわる  
雑学を紹介します

## 天王寺駅のシャンデリア



(左上) 創業当時からある行灯型  
(右上) 現在主流のパラソル型  
(下) 現在の御堂筋線天王寺駅ホームの様子。パラソル型のシャンデリアが並んでいます

一日あたりの乗降人数約27万人。大阪市南地区の大ターミナルである地下鉄天王寺駅は毎日たくさんのお客さまにご利用いただいています。天王寺駅の御堂筋線ホームの天井には蛍光灯8本をバラソル型に組み込んだユニークなデザインのシャンデリアがあります。そして、B階段には一つだけですが行灯型のシャンデリアもあります。カバーもレトロ調のあたたかいこの行灯型シャンデリア、実は開業当時（1938年）からのもので、同駅で1989

年に大規模な改装工事を行った際に、貴重な資料として保存を兼ねて一つだけ残しました。そういうわけで行灯型は70年以上も光を放ち続けています。天王寺駅をご利用のお客さまは主に通勤や通学です。どうしても急ぎ足になりますがちですが、ちょっと見上げてレトロな照明に少しほつとてもらえたなら、私たちもうれしいです。

お父さん、あるいはお父さんのお父さんも、目にされたかもわからないシャンデリア

10年間で770万キロワット時を削減。  
できるエコから進めています

## 消費電力エコReport



省エネ車両には「回生ブレーキ」という、自分で電気を作り出すことのできる仕組みを採用しています

CO<sub>2</sub>の排出量一つとってもも、電車やバスは車などに比べて地球にやさしい乗り物です。大阪市交通局では消費電力量の削減にも積極的に取り組んでいます。開業当初から省エネに取り組んできた今里筋線をはじめ、この春谷町線に導入した30000系新型車両に代表される省エネルギー型車両の導入もその一例。

このほか省エネルギー効果の大きい照明器具も順次設置しています。こうした取り組みを通して、この10年間に削減した電力は770万キロワット時になりました。とはいっても、770万キロワット時がどのくらいの

電力量なのか、ピンとこないと思いますので、身近なものと比べてみました。例えば一般的な家庭の液晶テレビ、1台を1時間見るのに必要な電力は約100ワット時。大阪市世帯数が約130万世帯ですので、1世帯約60時間、ほぼ3日分のテレビ電力消費量に相当します。

電気は小マメに消す。「ミニは少なくする。分別する。ほんの身近なところからエコはできます。大阪市交通局もできることからエコ。「地域にやさしい交通機関」として、より一層の省エネに取り組んでまいります。

大阪市営交通に関するお問い合わせ

- 市営交通案内センター ☎06-6582-1400(8:00~20:00、年中無休)  
㈹06-6585-6466

大阪市営交通でのお忘れ物に関するお問い合わせ

- お忘れものセンター ☎06-6633-9151(8:30~20:00、年中無休)  
㈹06-6647-6144

交通局ホームページ

- パソコン用 <http://www.kotsu.city.osaka.jp/>
- 携帯電話用 <http://mobile.kotsu.city.osaka.jp/>



公共交通機関では「携帯電話のご利用マナー」にご協力下さい。